# 前回課題の解説 (第10回: 文字列)

担当: 佐藤

#### 課題10-1

●scanf()の%s変換指定子で文字列を読み込む場合,空白文字を読み込むことができない。そのため、この問題では文字列の読み込みにgets()を使う必要がある

#### 課題10-2

strcat()は連結先の文字配列の'¥0'の位 strcat()を使うために #include <stdio.h> 置に連結元の文字列の先頭の文字を連 #include <string.h> string.hをインクルード> 結する. したがって. 連結先の文字配 列には'¥0'がなければならない. この int main() { 条件を満たすため、通常、連結先の文 char cStr[101] = ""; 字配列はあらかじめ空文字列にしてお char iStr[21]; く. この処理は初期化で簡単にできる iStrに入力された文字 while (gets(iStr) != NULL) { 列をcStrに連結し、連 strcat(cStr, iStr); 結後のcStrを表示する 実は, strcat()の戻り値は連結後 puts(cStr); ことを繰り返す の文字列. そのため, まとめて1 行で「puts(strcat(cStr, iStr));」 と書くこともできる return 0;

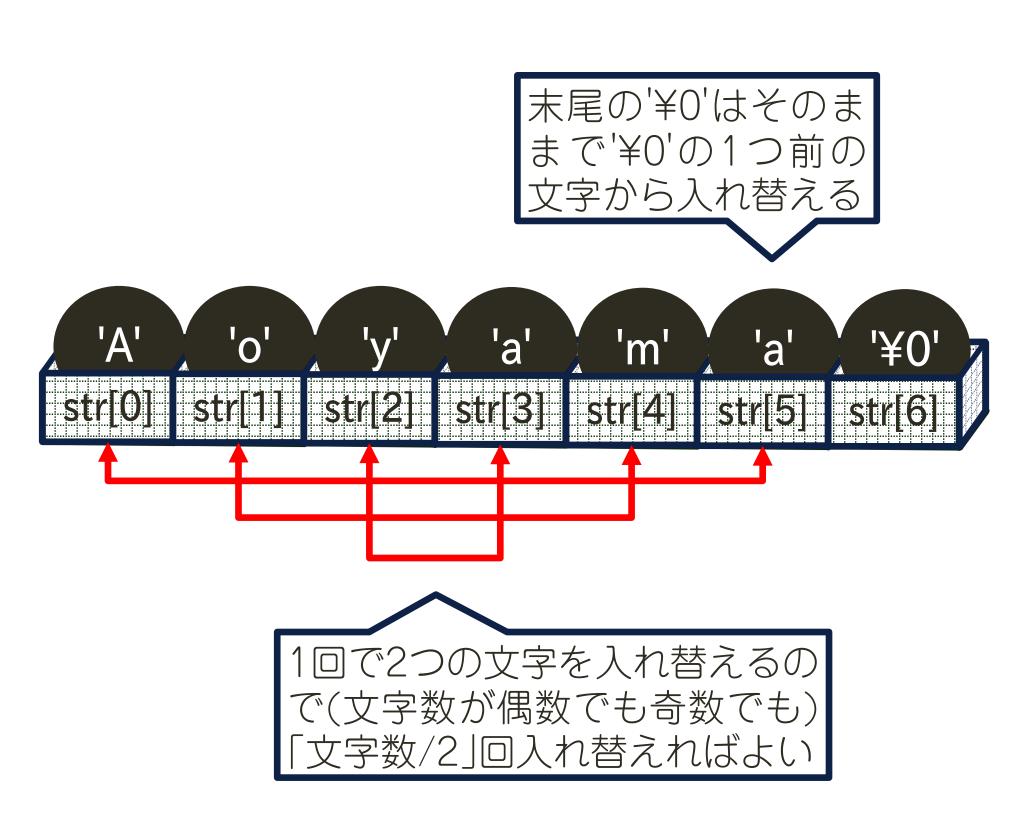
#### 課題10-3

```
#include <stdio.h>
#include <string.h> ◀strcmp()を使うために必要
int main() {
  char list[10][20] = { "Australia", "Austria", "Denmark", "Dubai", "Egypt",
                     "France", "Germany", "Hawaii", "Italy", "Russia" };
  char str[10];
  int i;
  printf("行きたい旅行先は?¥n");
                            「gets(str);」でもよい
  scanf("%s", str);
  for (i = 0; i < 10; i++) {
     if (strcmp(list[i], str) == 0) {
       printf("%sはリストの%d番目です\n", str, i + 1);
       break;
             無駄にループしないよう,
              表示後すぐループを抜ける
  if (i == 10) {
     printf("%sはリストにありません\n", str);
            無駄にループしないようにするだけでなく
            i == 10を「見つからなかった場合」の条件
  return 0;
            として使えるようになるという効果もある
```

### 課題10-4(1)

#### 文字配列の要素数に依存するプログラム

```
#include <stdio.h>
int main() {
   char str[7];
   char tmp;
   int i;
   printf("文字列を入力してください¥n");
   scanf("%s", str);
   for (i = 0; i < 7 / 2; i++) {
     tmp = str[i];
     str[i] = str[5 - i];
     str[5 - i] = tmp;
   printf("%s\u00e4n", str);
   return 0;
```



## 課題10-4(2)

文字配列の要素数に依存しない汎用的なプログラム

```
#include <stdio.h>
#include <string.h>
int main() {
  char str[128], tmp;
  int i, j;
  puts("文字列を入力してください");
  gets(str);
  for (i = 0, j = strlen(str); i < --j; i++) {
     tmp = str[i];
                      strlen(), カンマ演算子およ
     str[i] = str[j];
                      び前置減分演算子を利用する
     str[j] = tmp;
  puts(str);
  return 0;
```